

すずかけの木

平成30年9月1日発行
第136号
社会福祉法人
仙人福祉事業会
グリーンピラ夜久野

涼やかスポット事業



猛暑だったこの夏、8月1日～31日の間、熱中症予防のため涼やかスポット事業として施設を開放し、計242名の皆さんにご利用頂き、麦茶、かき氷等提供しました。

8月21日(火)はステージでの催しを開催しました。唄ボランティアの夜久正子様と季節の音楽を楽しみ、その後「カパーフラオカイリマレイアーピキ」の皆様フラダンスを披露していただきました。

地域のみなさんと一緒に手作りおやつもいただきました。

ボランティア並びにご利用いただいた皆様大変ありがとうございました。



京都DWAT(京都府災害派遣福祉チーム)の活動報告



平成30年7月豪雨では、福知山市内においても大きな被害がありましたが、川の決壊でさらに大きな被害を受け、約2,000人が避難生活を余儀なくされた岡山県倉敷市真備町岡田小学校へ、京都府から派遣要請があり、京都DWAT(京都府災害派遣福祉チーム)のメンバーとして8月5日～9日まで出動しました。

私の役割は岡田小学校にある体育館のなんでも相談コーナーで被災者の相談係でした。災害から約1か月が経過した時点でも体育館には約300人の被災者が生活されていました。多くの方は自宅の復旧に向けて活動され、日中過ごされている被災者は高齢者や子供等そして福祉的に支援が必要な方が体育館で過ごされていました。一瞬にして、自宅が流され、また2階まで浸水し、住む家がない方、そして、家族や友人など尊い命が51名奪われた方々でした。行政の支援施策があるものの、生活再建に向けて先が見えない状況。どこにこの思いをぶついたらいいのか、そのストレスは日々膨大になり、心身の不調を訴える方も多くありました。毎日の挨拶や声かけから心を開き、話を聞いてほしいと約40の方が日々、相談コーナーに立ち寄ってこられました。その内容や被災者の要望を対策本部へ伝えることが役割でした。振り返れば、あつという間の5日間でしたが、これだけ傾聴を意識して、対人援助をする機会はいまだにない経験でした。5日間でどんな支援ができたのか、わかりませんが、最終日には、被災者から感謝の言葉をたくさんいただくことができました。今も、豪雨や台風、そして地震の災害で日本全国に多くの被災者が生活再建に向けて、必死に向き合っておられます。一日も早い復興と安心して生活できる環境の整備を願うばかりです。職場を離れ、貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。

足立 厚子